様式第７－１（第１０条第１項）

令和●●年●●月●●日

（公益財団法人）
日本デザインナンバー財団 理事長 殿

申 請 者 名 ：

代表者職名 ：

氏　　名 ：　　印

所　在　地 ：

一般旅客運送事業種別（「〇印」、交付決定車両台数記入）

「一般乗合」、「一般貸切」、「一般乗用」、「貸与する者」

交付決定台数合計	交付決定台数合計	交付決定台数合計

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会交通利便性向上事業
実績報告書

令和●●年●●月●●日付日デ財発第●●号をもって交付決定のありました標記事業について、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会交通利便性向上事業助成実施要領第１０条第１項の規定に基づき下記資料を添えて報告します。

記

１．（様式第７－１）：実績報告書（本紙）
２．（様式第７－２）：申請書類送付時のチェックリスト
３．（様式第７－３）：実績助成対象事業内容及び申請値・実績値の経費内訳
４．（様式第７－４）：車両を貸与する者の提出様式

５．納品請求書（写し）
※発注先が発行する助成対象事業実施者に対する納品請求書（写し）
※請求明細として各項目及び各金額の記載があるものに限る。
６．払込書（写）:（注１）
※助成対象事業実施者から発注先に対する払い込みを示す資料
７．領収書（写し）:（注２）
８．自動車検査証（写し）
※自動車検査証の初度登録欄記載の年月は令和２年７月以前、かつ、登録年月日欄記載の年月日は令和２年７月２３日以前であること
９．移動円滑化適合であることの書類
⑴ ノンステップバスに係る移動円滑化適合の確認について
「標準仕様ノンステップバス認定書(写し)」。ただし当該認定書記載の車名及び型式が、自動車検査証の車名及び型式名欄に記載されていること。
⑵ リフト付きバスに係る移動円滑化適合の確認について、以下（①、②、③の何れか）の書類。
① 「『移動等円滑化の促進に関する基本方針において移動等円滑化の目標が定められているノンステップバスの基準等を定める告示』に規定する自動車であることの証明書」(写し)。なお、証明者の氏名または名称については、国産車については自動車製作者または自動車の改造を行った者とし、輸入車については自動車販売者又は自動車の改造を行った者の記名・押印・年月日の記載がある証明書
② 自動車検査証（写し)。ただし、当該検査証備考欄に「リフト付きバス」と記載があるものに限る。
③ イ：移動円滑化基準に適合している旨を記載した自認書（様式第７−５）
ロ：リフト付きバス車両のカラー（デジカメ）写真をＡ４サイズ用紙に貼付けプリントしたもの。ただし、車両（前・後・左・右）写真(ナンバープレートが確認できるもの)、リフトの全体、側面(左・右)、下降時(左・右)、上昇時(左・右)、格納時、車内からの写真、操作盤、などリフト装着が確認できる写真とすること。
⑶ ユニバーサルデザインタクシーに係る移動円滑化適合の確認について
「標準仕様ユニバーサルデザインタクシー認定書(写し)」。ただし　当該認定書記載の車名及び型式が、自動車検査証の車名及び型式名欄に記載されていること。
１０．貸切バス事業者にあっては、①貸切バス事業者安全性評価認定制度の「安全性評価認定証（写し)」、かつ、②当該認定制度における取消基準に

該当していない旨の自認書（(様式第７－６）

１１．車両の写真：前方、右側面、左側面、後方からのカラー写真

※「車両全体」及び「ナンバープレート（全面と後面）」並びに「行燈（ユニバーサルデザインタクシーの場合）」が判別できるように撮影すること）

※会社名部分も含めて撮影されていることが望ましい。

１２．その他、当財団において指示する資料

（注１） 助成対象事業実施者においてWebを利用した払い込み手続きを行っている場合の添付資料について、当該Web払い込み情報（年月日、支払先（契約先）名義人情報、払込金額、等の確認できる資料）のプリント。加えて、当該プリントの空き部分に助成対象事業実施者において、「原本と相違ない旨の署名・押印」を行った資料。

（注２） 領収書について、助成対象事業実施者自らが払い込みを行い、かつ、助成対象事業実施者をあて先とするものに限る。

（注３） 複数車両の申請を行っている場合は、交付決定のあった車両全てに係る実績報告書類一式を整えた状態で提出すること。

※一部の車両のみに係る実績報告は受付を行いません。